

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	小児顔面神経麻痺症例の検討
当院の研究責任者 (所属)	近藤 俊輔
他の研究機関および 各機関の研究代表者	琉球大学でのみ行う研究となります。
本研究の目的	顔が急に動かなくなる状態（目が閉じない、顔が歪んでいる、口から水がこぼれる）を顔面神経麻痺といいます。ヘルペスウィルスが原因であることが多く大人では比較的多いです。治療としては一般的に炎症を抑えて改善を促すステロイドホルモン剤やウィルスに対して抗ウィルス薬を用いて治療します。多くの方は治りますが、麻痺が起きた時の程度によって10－20%の方が治らず麻痺が残ります。大人では治療方法がガイドラインに示され確立していますが、子供の顔面神経麻痺は大人と比較すると少なく、まだ治療方法や治り具合を含め、明らかになっていないことが多くあります。そこで今までに琉球大学病院の耳鼻科で顔面神経麻痺の診察や治療を行ったお子さんの診療記録（カルテ）を見直し、治療方法と治り具合を比較し、今後の治療方針をどのようにしていけばよいかを検討する為に今回の研究を行います。
研究実施期間	倫理審査を通過してから2026年12月31日まで
調査データ(該当期間)	2006年1月～2024年12月
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま ・15歳以下かつ2006年1月から2024年12月までに琉球大学病院耳鼻科を顔面神経麻痺の症状で受診された方になります。 ●利用する試料・情報 年齢、性別、治療内容、治療後の経過（最長1年後までの経過） 顔の動きの程度を含めた検査結果
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	提供は致しません。

試料・情報の二次利用	予定していません。
個人情報の取り扱い	個人を特定できる情報を収集する予定はありません。
本研究の資金源 (利益相反)	琉球大学耳鼻科への寄付金で行います。
お問い合わせ先	電話：098-894-1423 担当者：近藤俊輔
備考	